

その9

企業誘致の成功と開発のあり方

井手たくの考え方

インベスト神奈川（補助金による企業誘致政策）の成功で多くの企業が神奈川県へ誘致される。藤沢市、武田薬品研究所誘致もその一つ。さらに相模川沿いにも多くの企業が進出してくる。

企業進出予定エリアは現在、相模川沿いに工事が進むさがみ縦貫道路のインターチェンジ周辺。つまり企業は物流において利便性の高くなるエリアを選択したわけだ。一方、この川沿いには市街化調整区域（農地等）が多い。これらが無秩序に開発がされないような街づくりであるべきだ。

その10

新たなる神奈川県の拠点づくり

井手たくの質問

インベスト神奈川の制度によって相模川沿いに企業が密集する形になるんですけども、ツインシティ計画※というのがありますが、この計画の進捗について、スピード面、また県としての財政優先度という面で、今後影響が出てくるだろうか。（県土活性化特別委員会にて）

県の答え

ツインシティの計画につきましては、平成14年にツインシティ整備計画を策定いたしまして、この東海道新幹線新駅誘致地区（寒川町倉見地区）を中心とした環境共生モデル都市ツインシティを南のゲートとしまして、それからリニア中央新幹線駅誘致地区、これを基幹ゲートとして形成することとしておりますが、これらをつなぐ南北方向の交通の軸として、この相模縦貫道路と相模線の複線化といったものを位置づけております。そういった意味で、相模縦貫道路の整備の促進、それからこのツインシティ整備計画にとりましては、当初からの計画に盛り込まれているということでございます。

解説

【ツインシティ計画】

相模川に橋を架け、平塚と寒川を結び、寒川へ新幹線新駅を誘致し鉄道、車道の交通が交錯する、新しい拠点を作る計画。



相模川沿いから 目が離せません！

